

石巻復興支援ネットワーク

Ishinomaki Revival Support Network



震災後、街はさびすしてました。
温かく、笑顔溢れる街に再び戻れるよう
やっべきちゃんは頑張りました。

石巻復興支援ネットワーク（概要）

ミッション：笑顔でつながろう～未来へ向かって～

メンバー：12人（大半が石巻市のお母さん）

経緯：子どもの環境教育、子育て中のお母さん方の相談会等を運営していた「環境と子どもを考える会」が母体となり、支援団体「つなづく」のメンバーと合同で立ち上げ。現在NPO申請中。



事業内容

- 1. 子供向け、街づくりに関連したイベント企画
 - >未来の大人であるこどもたちの支援、リーダー育成等を行います。
 - >より良いまちづくりへ向け、市民自縦から行政、市民を考える機会を提供します。
- 2. 仮設住宅内コミュニティ形成
 - >仮設住宅内で発生する孤独死、自殺、DV等を防止するため、コミュニティ形成の促進、いきがい仕事の創出を行います。
- 3. マッチング、現地コーディネート
 - >外部の支援団体と地域をつなげる現地コーディネート、マッチングを実施します。

1. 子ども向けサポート

◆1万本のミサンガ作り

>震災後、子供たちが自分達も何かしたいという思いから、生まれたWMI（We make Ishinomaki）。石巻市の中高生4人が中心となり活動中。ミサンガを編み、支援者の方々にお渡ししています。現在、オンライン寄付サイトのジャストギビングで、1万本のミサンガ作りに挑戦中。



◆石巻と神戸の学生交流プログラム

>石巻市の中高生と阪神大震災の被災地である神戸市の学生たちによる交流を通して、絆を深め、共に復興へアクションをしていくプログラム。



◆けろっぷ活動サポート

>石巻市ジュニアリーダー「けろっぷ」の活動支援

1. シンポジウム企画

阪神大震災、中越沖地震の知見を持つ専門家を交え、震災で今後想定される問題を考えるシンポジウム、講演会を企画します。

■6月12日、24日
石巻市震災復興基本計画へ提案！
市民ワークショップ開催

■8月6日
田村水郎氏講演会開催
「仮設住宅での一工夫」
@石巻専修大学



*6月12日のシンポジウムは、神戸新聞、日々新聞に掲載されました。
*8月6日の講演会は、河北新報に掲載されました。

2. コミュニティ形成の促進

◆仮設住宅団地内集会場を活用したイベント

>孤独死・自殺をゼロにするため、住民を構築的にコミュニティを形成できるようにサポートする
>例）お茶会、ミニ居酒屋、手芸教室、マッサージ



◆いきがい仕事の創出

>集会場で簡単にできる手仕事を提供
>2~3万円/人の収入を得ながら、自己の役割の認知や協同によるコミュニティ意識の醸成を行う
>地元のリソースを活用した商品



3. マッチング、現地コーディネート

◆マッチング
・外部の支援団体と石巻の地域を適切につなぎます。つなぎ先は、行政、企業、市民活動団体、商工会、地元のキーマン等様々です。

◆現地コーディネート
・地元のネットワークを生かし、活動の現地コーディネートを致します。
 >産業間連
 >企画検討会、被災地外と被災地内の企画交流会・商工会テレワークの雇用情報会サポート、被災地ツアーや現地コーディネート。
 >教育間連
 >子ども向け居場所支援、子ども相談会場、スタディーサーパー[♂]
 >その他
 >物販配布(緊急支援)、各支援団体の活動サポート

3・11 東日本大震災で多くの被災



家の流出
家族が犠牲

被災した門脇小学校



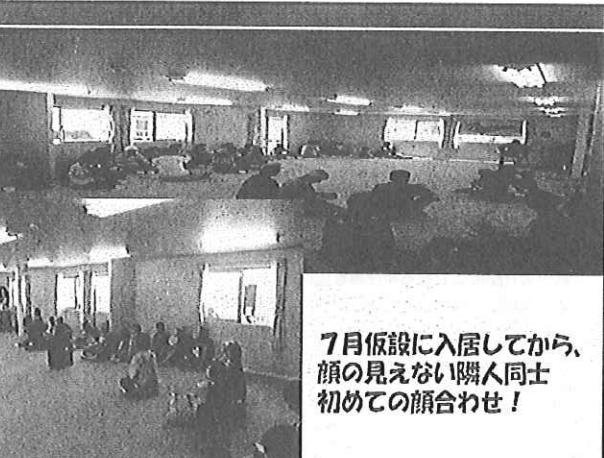
自分の心のコントロール不能

↓

気力・体力・喪失、自殺の危惧

- ・早い段階での新しいコミュニティ構築
- ・住民の変化・ニーズをキャッチ
- ・新たなコミュニティでの交流・イベント参加
- ・子育てを楽しめる環境づくり
- ・自殺・幼児虐待を防ぐ
- ・仕事をつくる

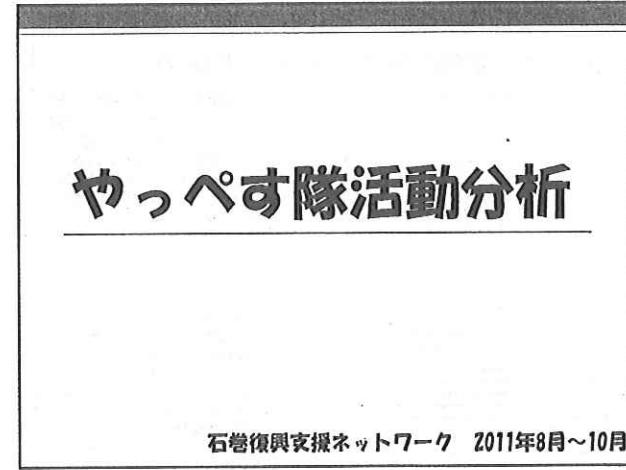
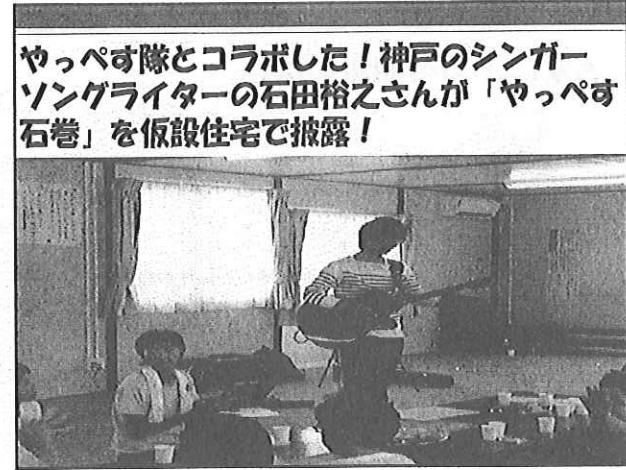
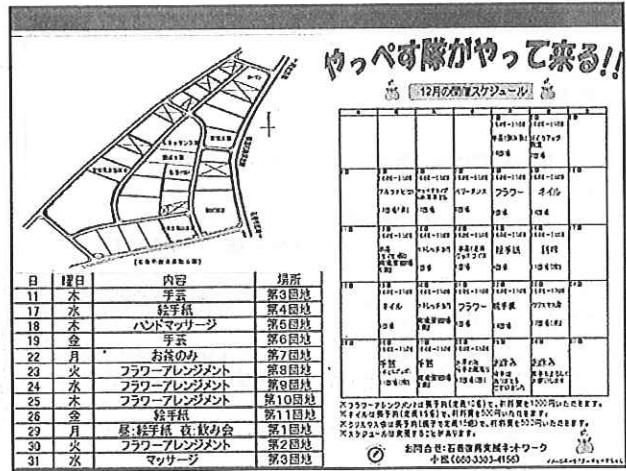
早急な対応
が必要



7月仮設に入居してから、
顔の見えない隣人同士
初めての顔合わせ！

8月6日 田村太郎氏による「仮設住宅でのひと工夫」と題して市民・ボランティア向けの講演会を開催

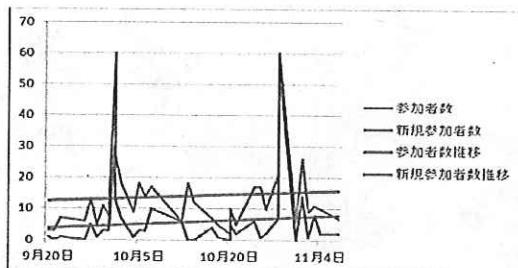




要旨

- ・3か月間の継続的な活動により、参加者数、新規参加者数ともに増加傾向にある。
- ・団地によってイベント参加者数に大きな開きがある。
(やっべきの場合は、5・8・9団地の住民の参加者が少ない)
- ・一部のイベント（将棋、モノづくりなど）を除いて男性の参加者がとても少ない。
- ・他団体との協働によるイベントでたくさんの参加者を獲得している一方で、安定した参加者を確保し続けているイベントもある。
- ・イベントに子育て世代のお母さんが参加することが多い。

イベント参加者数の推移



- ・短期的には増減が激しいが、全体としては増加傾向にある。
- ・9月からの全体の延べ参加人数は815人。
- ・10月1日に開催されたダンス・日光和楽踊りと、10月28日に開催されたハロウィンイベントがともに参加者60人を突破しており、新規参加者も多い。

男女による参加者の違い

述べ参加者に占める
男女の割合



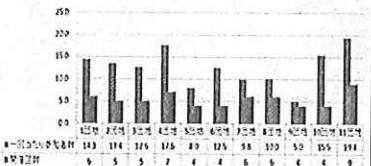
イベント	男性	女性
カラオケ	6	22
物置づくり	7	3

イベント	男性	女性
絵手紙	2	8
模造	4	22
縁台づくり	3	7

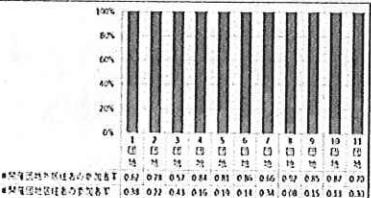
○男性が比較的多く参加したイベント例

- ・男性の参加者の割合がとても小さい（述べ参加者数全体の15%）
- ・将棋やカラオケ、模造・縁台づくりなど男性が参加しやすそうなイベントでも参加者数はあまり大きくならない。

開催団地別参加者数



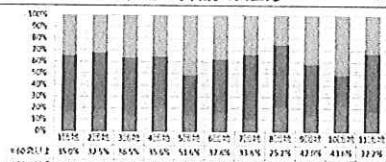
自分が住んでいる団地で開催されたイベントに参加する人の割合



- ・1団地や11団地のように規模の大きな仮設住宅や、10団地や4団地のように隣接する団地が多い団地の集会所では一回当たりの参加者数が多い。
- ・イベントを開催した団地外から参加する人の割合が多く、多少の移動はいざわざに参加してくれる住民が多い。（ハロウィンイベントの時は、開催した4団地から違う18・10・11団地からもたくさんの方々が参加し、その傾向が顕著だった。）

参考資料（活動団地の年齢・男女別住民数）

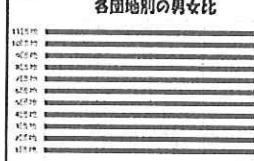
各団地の年代別の人口比



※8月時点、石巻市調べによる

8団地を除くすべての団地で60歳以上の高齢者の割合が30%を超えており、特に、5、9、10団地は60歳以上の割合が40%を超える高齢化団地となっている。

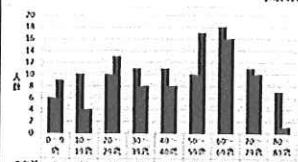
各団地別の男女比



各団地全体の男女の割合については、4、7、9団地を除いて女性のほうが多い。しかししながら、人数としての差は、一番広い11団地の37人以外は概ね10人前後となっており、団地内で生活する分には、男女の割り合はあまり感じられないのではないかと増えられる。

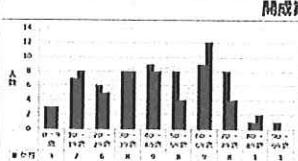
参考資料（活動団地の年齢・男女別住民数）

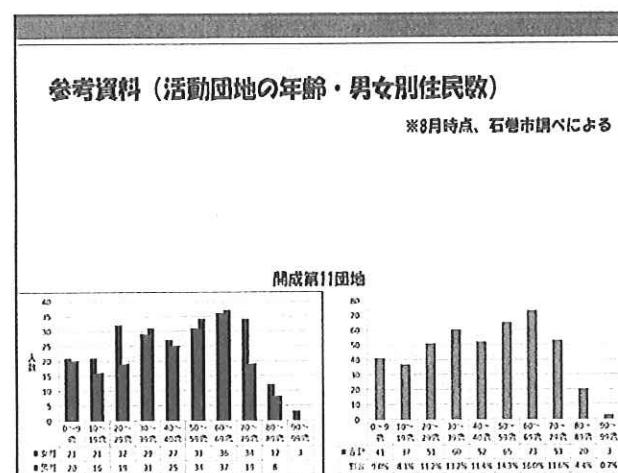
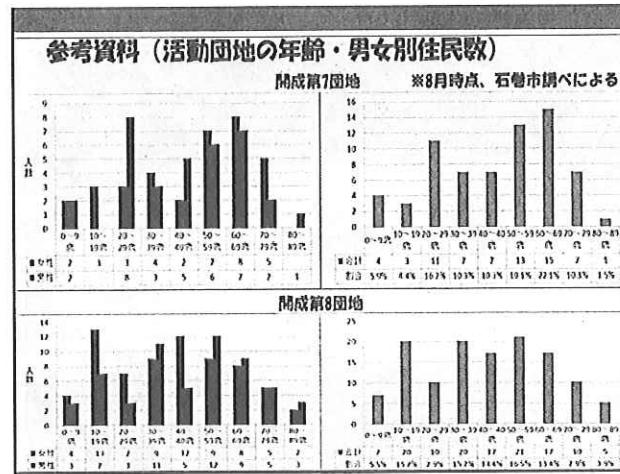
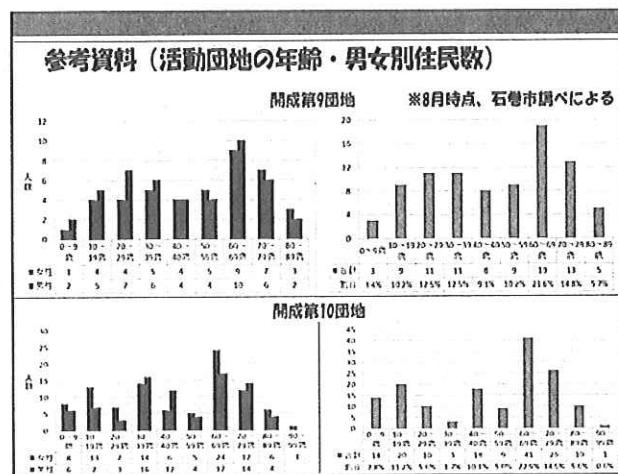
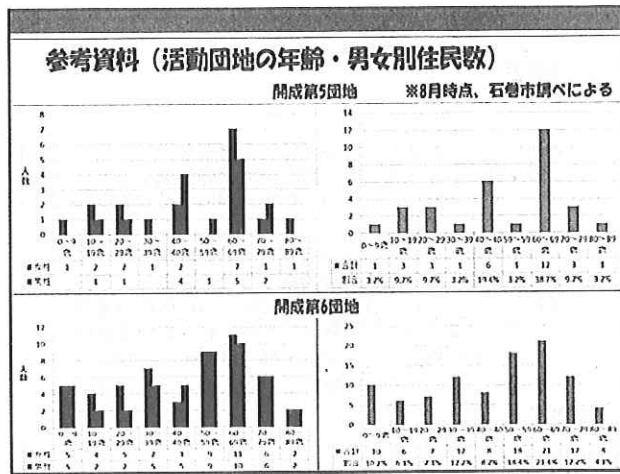
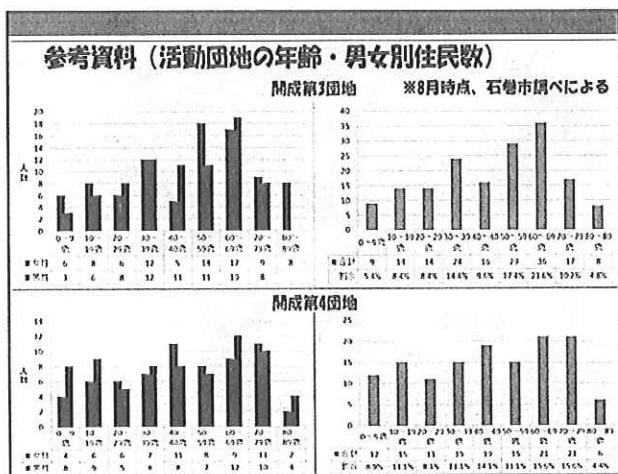
開成第1団地



※8月時点、石巻市調べによる

開成第2団地





活動を通して。。。

- ・活動を始めたころは、住民の皆さん一人一人がつい体験を話しながら涙を流しておられた。
- ・共に思いを語り合うことにより、自然に交友関係ができてきました。
- ・内容を精査しながら、あらゆる世代が参加できるようなイベントの開催。
- ・回数を重ねるうちに住民の皆さんが自ら活動のお手伝いを申し出てくれるようになつた。
- ・更に、イベントの講師を受けてもらえるようになった。
- ・今後は徐々に住民の皆さんか企画・運営できるようなサポートに移行し、他の地域において活動を展開していく。

最後に・・・。

- ・コミュニティ支援をしている団体との連携を図り、自殺・孤独死・DV・虐待を未然に防ぐ啓発活動をすすめながら、それぞれの世代にあった生きがいづくりを住民の方々と共にみつける。
- ・今後の自分たちの活動を進める中で、震災後バラバラになったコミュニティの再生を構築することにより、もうい慣れてしまつた依存体質を改善し、もともとの普通の生活を送れるように可能な限りサポートしていきたい。
- ・必要でない事柄も必要ではない人間もこの世には存在しないと思う。だから共に前を向きましょう！
- ・合言葉は「やっべす」

ご静聴ありがとうございました



復興

カンバロ-石巻